

日本言語学オリンピック2022

第20回国際言語学オリンピック日本予選一次選抜

解答・解答の説明

A 筆記試験

02

解答例

04

第1問

タグバヌワ語

ヴラド・A・ネアクシュ

05

第2問

タワラ語

佐藤和音

07

第3問

ムンダ語

高橋翼

10

第4問

ヤオ語

ヴラド・A・ネアクシュ

パン・トンロー(潘同樂)

13

第5問

ティンリン語

小林剛士

B

上位者面接

16

問題1

パラオ語

佐藤和音

17

問題2

ワルピリ語

佐藤和音

18

問題3

マン島語

佐藤和音
梶田純之介

C

統計

19

統計

JOL

第1問

採点欄

1)	f	2)	b	3)	k	4)	j	5)	e	6)	a	/20
7)	c	8)	h	9)	d	10)	i					

第2問

採点欄

(ア)	11)	tutou	/2
(イ)	12)	apapu	/2
	13)	atatuna	/2
	14)	gegae	/2
	15)	hunehuneya	/2
	16)	taatawa	/2
	17)	titeina	/2
	18)	teete	/2
	19)	togotogo	/2
	20)	umuma	/2
			/20

第3問

採点欄

(ア)	21)	namkiʔia						/1		
	22)	namkeda						/1		
	23)	idikedkina						/1		
	24)	koṛakoko						/1		
(イ)	25)	A	男たち	B	複数の骨	C	山	D	売らなかった	/2
	26)	A	彼ら	B	弓	C	見つけた			/2
	27)	A	彼	B	複数の弓	C	見つけた			/2
	28)	A	子供たち	B	羊たち	C	家	D	連れて行った	/2
(ウ)	29)	setako kako namkedkoa						/2		
	30)	namkedkinaeʔ						/2		
	31)	honko aʔ burute kako idikeda						/2		
	32)	meromkin jaṅkinkin namkeda						/2		
										/20

第4問

採点欄

(ア)	33)	ambuje	34)	amao	35)	atati wákongwe	/7.33
	36)	atati	37)	cemwali	38)	acimweni	
	39)	acimweni	40)	acimweni	41)	mwanache	
	42)	mwanache	43)	mwanache			
(イ)	44)	ambuje	45)	ambuje	46)	akwelume	/12.67
	47)	amao	48)	atati wákongwe	49)	atati	
	50)	akwelume	51)	amao / akwelume	52)	asiwani	
	53)	asiwani	54)	acimweni	55)	cemwali	
	56)	asiwani	57)	asiwani	58)	acimweni	
	59)	asiwani	60)	asiwani	61)	acimweni	
	62)	cemwali	競技当日に使用した問題冊子では、p.6 akwelume の3つ目の説明に誤りがあったため、51) の解答は akwelume でも正答とします。 スペシャルエディションの 51) の解答は amao のみです。				/20

第5問

採点欄

(ア)	63)	ho	64)	e	65)	jorri	/5
	66)	ta	67)	ta	68)	ho	
	69)	hō	70)	ho	71)	ta	
	72)	e	73)	jorri			
(イ)	74)	彼がパンを今食べた					/1.5
	75)	私がタロイモを今食べている					/1.5
	76)	彼が以前歌った					/1.5
	77)	鳥が今歌った					/1.5
	78)	彼らが彼のおじを今見た					/1.5
(ウ)	79)	A	彼がカニを以前食べていた				/1.5
		B	カニが肉を今食べている				/1.5
(エ)	80)	nrâ nrâ e u					/1.5
	81)	u ho nrû					/1.5
	82)	rri nrâ ta nrâ moghi nrâ maamurru					/1.5
							/20

/100

第1問 文字

タグバヌワ語

内名: Tagbanwa | 𐄌𐄎𐄓𐄔

英語名: Tagbanwa

話者数: 17,200

地域: 東南アジア ▶ フィリピン ▶ パラワン州 ▶ ミマロパ地域

系統: オーストロネシア語族 ▶ マレー・ポリネシア語派



フィリピン
パラワン州

規則

- ▶ 書字方向: 下から上
- ▶ 1文字が1音節(CV)に対応している。CVC音節の末尾の子音は文字に反映されない。
 - 例: tu.mang.ku.yun は tu.ma.ku.yu のように書かれる
- ▶ 文字の一覧:

ka ga nga ta da na pa ba ma ya la wa sa

𐄌 𐄎 𐄓 𐄔 𐄕 𐄖 𐄗 𐄘 𐄙 𐄚 𐄛 𐄜 𐄝 𐄞 𐄟

- ▶ デフォルト母音は a である。母音の交替は、記号 𐄓 をつけることにより表す。
 - 基字の上につけると i を表す
 - 基字の下につけると u を表す

解答

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

sa 𐄛	si 𐄛	ni 𐄕	yu 𐄙	sa 𐄛	gu 𐄎	ya 𐄙	ngi 𐄓	sa 𐄛	ti 𐄓
du 𐄕	wa 𐄛	ya 𐄙	ku 𐄌	bu 𐄛	lu 𐄙	di 𐄕	la 𐄕	pu 𐄙	si 𐄛
ngi 𐄓	ga 𐄎	ku 𐄌	ma 𐄕	ya 𐄙	ba 𐄛	ka 𐄌	na 𐄕	pu 𐄙	pi 𐄕
ma 𐄕	bu 𐄛	tu 𐄓	tu 𐄓	ki 𐄌			pa 𐄕	ka 𐄌	su 𐄙

1. ma.ngi[n].du.sa
2. bu.ga.wa.si[n]
3. tu[ng].ku.ya.ni[n]
4. tu.ma[ng].ku.yu[n]
5. ki.ya.bu.sa[n]

6. ba.lu.gu
7. ka.di.ya[ng]
8. pa.na.la.ngi[n]
9. ka.pu.pu.sa[n]
10. su.pi.si[n].ti

第2問 韻律

タワラ語

内名: Tawala

英語名: Tawala

話者数: 10,000

地域: オセアニア ▶ パプア・ニューギニア ▶ ミルン湾州

系統: オーストロネシア語族 ▶ マレー・ポリネシア語派 ▶
オセアニア語派

05

第2問

規則

- ▶ a. VC で始まる動詞語根は、語頭の VC を重複

単純形	重複形
am	am-am
apuya	ap-apuya
eno	en-eno
apu	ap-apu
atuna	at-atuna
uma	um-uma

- ▶ b. CV₁V₂ で始まる動詞語根は、CV₂ を重複

単純形	重複形
beiha	bi-beiha
houni	hu-houni
mae	me-mae
tou	tu-tou (*to-tou)
gae	ge-gae
teina	ti-teina

- ▶ c. CVCV で始まる動詞語根のうち、 $C_1V_1C_1V_1$ で始まるものは最初の V を長母音化

単純形	重複形
guguya	guuguya
totogo	tootogo
tatawa	taatawa
tete	teete

- ▶ d. 上記 c に該当しない CVCV で始まる動詞語根は、語頭の CVCV を重複

単純形	重複形
geleta	gele-geleta
hopu	hopu-hopu
kadau	kada-kadau
huneya	hune-huneya
togo	togo-togo

解答

- (ア) k. を tutou に直す。

(*totou が規則 b に違反。第1音節が二重母音のため CV_1 ではなく CV_2 を重複)

(イ)

- 12) apu は VC で始まるので、規則 a より語頭の VC を重複して ap-apu となる。
- 13) atuna は VC で始まるので、規則 a より語頭の VC を重複して at-atuna となる。
- 14) gae は CV_1V_2 で始まるので、規則 b より CV_2 を重複して ge-gae となる。
- 15) huneya は CVCV で始まるので、規則 d より語頭の CVCV を重複して hune-huneya となる。
- 16) tatawa は $C_1V_1C_1V_1$ で始まるので、規則 c より V を長母音化して taatawa となる。
- 17) teina は CV_1V_2 で始まるので、規則 b より CV_2 を重複して ti-teina となる。
- 18) tete は $C_1V_1C_1V_1$ で始まるので、規則 c より V を長母音化して teete となる。
- 19) togo は CVCV で始まるので、規則 d より語頭の CVCV を重複して togo-togo となる。
- 20) uma は VC で始まるので、規則 a より語頭の VC を重複して um-uma となる。

第3問 統語

ムンダ語

内名: ମୁନ୍ଦାଭାଷା | मुंडारी | भुंडारि | ମୁଣ୍ଡାରୀ | Muṇḍari

英語名: Mundari

話者数: 486,000

文字: ムンダリ・バニ文字, デーヴァナーガリー文字,
ベンガル文字, オリヤー文字, ラテン文字

地域: 南アジア ▶ インド ▶ ジャールカンド州, オディシャ州

系統: オーストロアジア語族 ▶ ムンダ語派



代用表記と本来の表記法の対応

代用	本来	発音
q	ʔ	声門閉鎖音
tr	ʈ	無声そり舌閉鎖音
rr	ɽ	そり舌はじき音
ng	ŋ	軟口蓋鼻音

規則

▶ 文構造: 主語 目的語 (否定辞 ka) 動詞

re 「〜で」、-te 「〜に」 のついた語は否定辞 ka より前のどこにおいてもよい

▶ 名詞構造:

語幹	数	に/で
	単数 -∅	〜で =re
	双数 -kin	〜に =te
	複数 -ko	

名詞の数は有生・無生に関わらず示される。

▶ 動詞構造: (=主語標識) 動詞語幹 - 目的語標識 - a (=主語標識)

主語標識は | 動詞の直前の語の後ろ | につく。
| 動詞の直後(直前の語がない場合) |

● 目的語標識・主語標識

	目的語	主語
無生	-ked	— (データなし)
	単数 -kiʔi	=eʔ
有生	双数 -kedkin	=kin
	複数 -kedko	=ko

別の分析

-kiʔ と -ked をそれぞれ1つの接辞と分析することもできる。ムンダ語学ではこちらの分析を採用し、いずれも時制接辞であるとしている。-kiʔ は -i の直前で、-ked はそれ以外の場合に現れる。

解答

(ア)

21) hon buru=re=ko *nam-ked-a
 子供 山=で=主語標識.有生.複数 見つける-目的語標識.無生-a

「子供」は有生物なので、「子供を」に対応する目的語標識は有生単数の目的語標識 -kiʔi とする必要がある。-ked を -kiʔi に直して、nam-kiʔi-a となる。

22) kurcu piʔi=re aʔ-kin=eʔ *nam-kedkin-a
 クルチュ 市場=で 弓-双数=主語標識.有生.単数 見つける-目的語標識.有生.双数-a

「弓」は無生物なので、「弓を」に対応する目的語標識は無生の -∅ とする必要がある。
 -kin を削除し、nam-ked-a となる。

23) koʔa seta-kin=eʔ *idi-kiʔi-a
 男 犬-双数=主語標識.有生.単数 連れて行く-目的語標識.有生.単数-a

「犬二匹を」に対応する目的語標識は双数の -kedkin とする必要がある。-kiʔi を -kedkin に直して、idi-kedkin-a となる。

24) seta-ko *koʔa-ko dal-kedko-a
 犬-複数 男-複数 叩く-目的語標識.有生.複数-a

動詞の直前の語の末尾に主語標識をつける必要がある。主語は「犬たち」なので、有生複数の主語標識 =ko をつけて、koʔa-ko=ko となる。

(イ)

25) buru=re koʔa-ko jaŋ-ko ka=ko akiriŋ-ked-a
 山=で 男-複数 骨-複数 否定=主語標識.有生.複数 売る-目的語標識.無生-a

A 男たちが B 複数の骨を C 山で D 売らなかった

26) aʔ=ko nam-ked-a
 弓=主語標識.有生.複数 見つける-目的語標識.無生-a

A 彼らが B 弓を C 見つけた

27) aʔ-ko=eʔ nam-ked-a
 弓-複数=主語標識.有生.単数 見つける-目的語標識.無生-a

A 彼が B 複数の弓を C 見つけた

28) oʔaʔ=te hon-ko merom-ko=ko idi-kedko-a
 家=に 子供-複数 羊-複数=主語標識.有生.複数 連れて行く-目的語標識.有生.複数-a

A 子供たちが B 羊たちを C 家に D 連れていった

(ウ)

29) seta-ko ka=ko nam-kedko-a
 犬-複数 否定=主語標識.有生.複数 見つける-目的語標識.有生.複数-a
 犬たちが彼らを見つけなかった

30) nam-kedkin-a=e?
 見つける-目的語標識.有生.双数-a=主語標識.有生.単数
 彼が彼らふたりを見つけた

31) hon-ko a? buru=te ka=ko idi-ked-a
 子供-複数 弓 山=に 否定=主語標識.有生.複数 連れて行く-目的語標識.無生-a
 子供たちが弓を山に持っていかなかった

32) merom-kin jañ-kin=kin nam-ked-a
 羊-双数 骨-双数=主語標識.有生.双数 見つける-目的語標識.無生-a
 羊二匹が二つの骨を見つけた

第4問 親族名称

ヤオ語

内名: chiYao

英語名: Yao

話者数: 3,728,000

文字: ラテン文字

地域: アフリカ ▶ マラウイ, モザンビーク, タンザニア

系統: ニジェール・コンゴ語族 ▶ バントゥー諸語



代用表記と本来の表記法の対応

代用	本来	発音
v	w	両唇接近音

規則

交差しとこ

親どうしが異なる性別であるようないとこ。

「母の兄弟の子供」や「父の姉妹の子供」がこれに該当する。

▶ X jua Y は「Y の X」を表す。

▶ 語彙:

mwanache = 子供| mwanache wandu = 息子| mwanache wakongwe = 娘atati = 父amao = 母acimweni = 兄弟cemwali = 姉妹ambuje = 祖父母yisikulu = 孫

▶ 一方の親の同性のきょうだいは、もう一方の親の異性の交差しとこと親族名称が同じ。

	同性のきょうだい	異性の交差しとこ	異性のきょうだい	同性の交差しとこ
「私」の	<u>cemwali</u>	<u>asiwani</u>	<u>acimweni</u>	<u>asiwani</u>
「私」の母の	<u>amao</u>	<u>atati</u>	<u>akwelume</u>	<u>atati wakongwe</u>
「私」の父の	<u>atati</u>	<u>amao</u>	<u>atati wakongwe</u>	<u>akwelume</u>

▶ 兄弟・姉妹・交差いとこの意味は、厳密には上の表の親族名称に由来する。

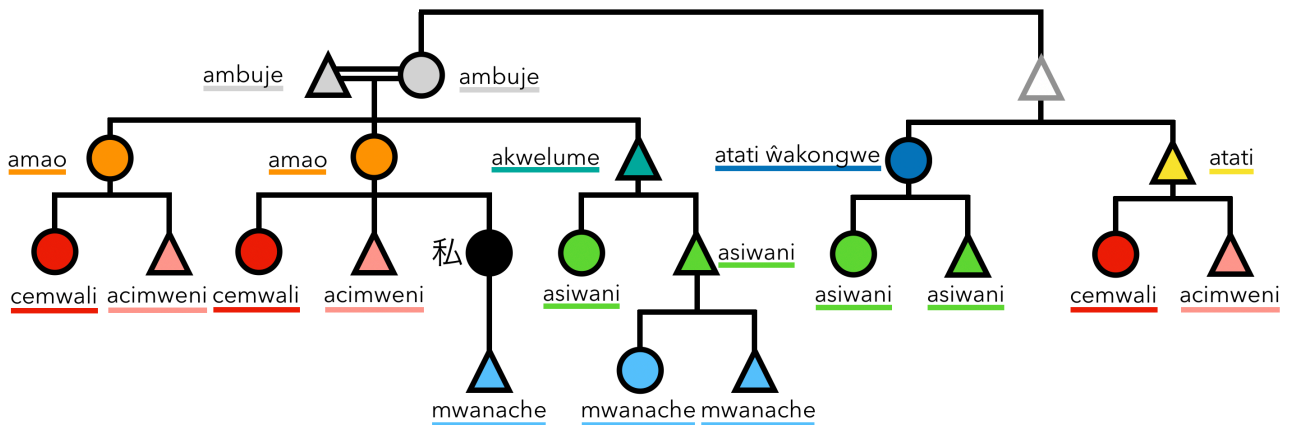
「私」の父/母の娘は「私」の姉妹であり、「私」の父/母の息子は「私」の兄弟である。

	息子	娘
「私」の <u>atati</u> の		
「私」の <u>amao</u> の	<u>acimweni</u>	<u>cemwali</u>
「私」の <u>akwelume</u> の		
「私」の <u>atati wakongwe</u> の	<u>asiwani</u>	

▶ 「私の子供」は、「私」の異性の交差いとこの子供も意味する。

解答

(ア)



33) 「私」の祖母なので、ambuje となる。

34) 「私」の母なので、amao となる。

35) 「私」の母の同性の交差いとこなので、atati wakongwe となる。

36) 「私」の母の異性の交差いとこなので、atati となる。

37) 「私」の amao の娘なので、cemwali となる。

38) 「私」の amao の息子なので、acimweni となる。

39) 「私」の異性のきょうだいなので、acimweni となる。

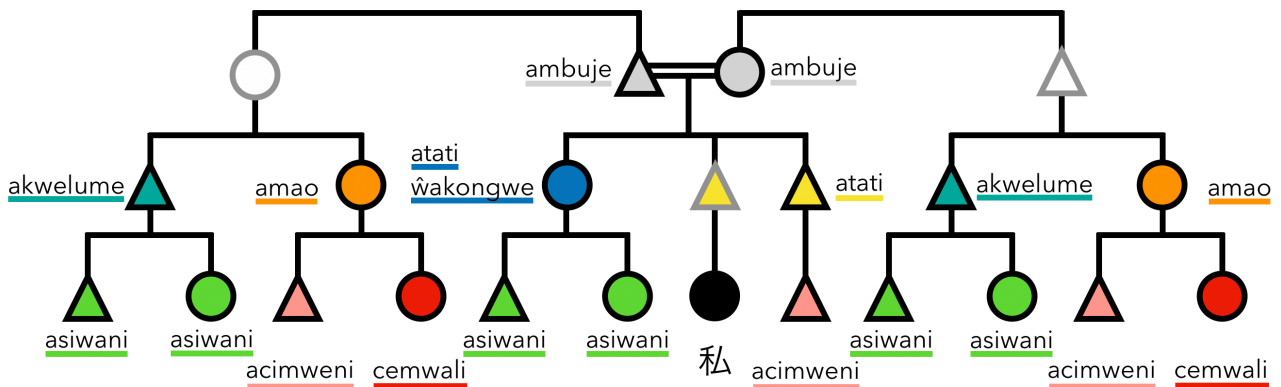
40) 「私」の atati の息子なので、acimweni となる。

41) 「私」の子供なので、mwanache となる。

42) 「私」の異性の交差いとこの子供なので、mwanache となる。

43) 「私」の異性の交差いとこの子供なので、mwanache となる。

(イ)



- 44) 「私」の祖父なので、ambuje となる。
- 45) 「私」の祖母なので、ambuje となる。
- 46) 「私」の父の同性の交差いところなので、akwelume となる。
- 47) 「私」の父の異性の交差いところなので、amao となる。
- 48) 「私」の父の異性のきょうだいなので、atati wakongwe となる。
- 49) 「私」の父の同性のきょうだいなので、atati となる。
- 50) 「私」の父の同性の交差いところなので、akwelume となる。
- 51) 「私」の父の異性の交差いところなので、amao となる¹。
- 52) 「私」の akwelume の息子なので、asiwani となる。
- 53) 「私」の akwelume の娘なので、asiwani となる。
- 54) 「私」の amao の息子なので、acimweni となる。
- 55) 「私」の amao の娘なので、cemwali となる。
- 56) 「私」の異性の交差いところなので、asiwani となる。
- 57) 「私」の同性の交差いところなので、asiwani となる。
- 58) 「私」の atati の息子なので、acimweni となる。
- 59) 「私」の akwelume の息子なので、asiwani となる。
- 60) 「私」の akwelume の娘なので、asiwani となる。
- 61) 「私」の amao の息子なので、acimweni となる。
- 62) 「私」の amao の娘なので、cemwali となる。

¹ 競技当日に使用した問題冊子では、p.6 akwelume の3つ目の説明 mwanache vandu jua akwelume jua atati 「atati の akwelume の息子」の vandu が抜けていたため、akwelume の性別が特定できません。これにより、51) は親族名称が akwelume であっても矛盾がないため、akwelume も正答としました。

第5問 統語

ティンリン語

内名: Tîrî, Ciri, Ha Mea

英語名: Tîrî, Tinrin

話者数: 600

地域: オセアニア ▶ ニューカレドニア ▶ ラ・フォア

系統: オーストロネシア語族 ▶ マレー・ポリネシア語派 ▶
オセアニア語派

代用表記と本来の表記法の対応

代用	本来	発音	代用	本来	発音
an	â	鼻母音	en	ê	鼻母音
in	î	鼻母音	on	ô	鼻母音
un	û	鼻母音			

規則

▶ 構造:

主語(必須)	アスペクト	動詞	時制	(目的語) (nrâ 主語)
u: 1SG(私)	nrâ: 未完了(～している/た)		nrâ: 過去(以前)	
nrâ: 3SG				
rri: 3PL	何もなければ: 完結(～した)		何もなければ: 現在(今)	

▶ 「食べる」を表す動詞 e と ho の違い:

- e: 目的語が穀物 (タロイモ, パン, ヤムイモ)
- ho: 目的語が肉類 (エビ, 魚, カニ)

※ ho は目的語がないときは「肉を食べる」と訳される。

▶ 「～のおじ, ～の兄」は「おじ, 兄」を表す部分の後ろに所有者をつけて表される。

	所有者
warrabù-: おじ	-rò: 私の
ausò-: 兄	-nrî: 彼の
	-rri: 彼らの

所有者(私の, 彼の, 彼らの)と目的語(私を, 彼を, 彼らを)は同じ人称代名詞で表される。つまり、rò: 私の / 私を; nrî: 彼の / 彼を; rri: 彼らの / 彼らを。

解答

(ア)

	主語(必須)	アスペクト	動詞	時制	(目的語)	(nrâ 主語)
63	nrâ 3SG		ho (肉類を)食べる	nrâ 過去	moghi エビ	nrâ warrabù-rri 彼らのおじ
64	nrâ 3SG	nrâ 未完了	e (穀物を)食べる	nrâ 過去	tâ タロイモ	nrâ ausòò-rò 私の兄
65	nrâ 3SG	nrâ 未完了	gorri 見る	nrâ 過去	rò 私	
66	nrâ 3SG	nrâ 未完了	ta 叩く		nrû 魚	nrâ ausòò-rò 私の兄
67	nrâ 3SG		ta 叩く		nrî 彼	nrâ warrabù-rò 私のおじ
68	rri 3PL		ho (肉類を)食べる		bwò カニ	nrâ maamùrrù 子供たち
69	rri 3PL	nrâ 未完了	hò 歌う			nrâ maamùrrù 子供たち
70	rri 3PL	nrâ 未完了	ho (肉類を)食べる	nrâ 過去		
71	rri 3PL	nrâ 未完了	ta 叩く		mêwe 鳥	
72	u 1SG		e (穀物を)食べる	nrâ 過去	farrawa パン	
73	u 1SG	nrâ 未完了	gorri 見る	nrâ 過去	u ヤムイモ	

(イ)

	主語(必須)	アスペクト	動詞	時制	(目的語)	(nrâ 主語)
74	nrâ 3SG		e (穀物を)食べる		farrawa パン	
75	u 1SG	nrâ 未完了	e (穀物を)食べる		tâ タロイモ	
76	nrâ 3SG		hò 歌う	nrâ 過去		
77	nrâ 3SG		hò 歌う			nrâ mêwe 鳥
78	rri 3PL		gorri 見る		warrabù-nrî 彼のおじ	

74) 彼がパンを今食べた75) 私がタロイモを今食べている76) 彼が以前歌った77) 鳥が今歌った78) 彼らが彼のおじを今見た

(ウ)

	主語(必須)	アスペクト	動詞	時制	(目的語)	(nrâ 主語)
A	nrâ 3SG	nrâ 未完了	ho (肉類を)食べる	nrâ 過去	bwò カニ	
B	nrâ 3SG	nrâ 未完了	ho (肉類を)食べる			nrâ bwò カニ

79) Aの解釈では「彼がカニを以前食べていた」、Bの解釈では「カニが肉を今食べている」となる。

(エ)

	主語(必須)	アスペクト	動詞	時制	(目的語)	(nrâ 主語)
80	nrâ 3SG	nrâ 未完了	e (穀物を)食べる		u ヤムイモ	
81	u 1SG		ho (肉類を)食べる		nrû 魚	
82	rri 3PL	nrâ 未完了	ta 叩く	nrâ 過去	moghi エビ	nrâ maamùrrù 子供たち

1. karu-k 薬-私の	私の薬 or 私の複数の薬	5. re-ngaleke-l 複数-子供-彼の	彼の複数の子供
2. karu-m 薬-君の	君の薬 or 君の複数の薬	6. secheli-k 友人-私の	私の友人
3. karu-l 薬-彼の	彼の薬 or 彼の複数の薬	7. re-secheli-m 複数-友人-君の	君の複数の友人
4. ngaleke-k 子供-私の	私の子供	8. bilisu-l 犬-彼の	彼の犬 or 彼の複数の犬

面接用問題2 統語

ワルピリ語

内名: Warlpiri

英語名: Warlpiri

話者数: 2,300

文字: ラテン文字

地域: オーストラリア ▶ ノーザンテリトリー

系統: パマ・ニュンガン語族 ▶ ンガルキック諸語



17

面接用
問題2

規則

- ▶ 語順: 主語 極性(肯定 ka, 否定 kulaka) 目的語 動詞
- ▶ 1,3,4は自動詞文、2,5は他動詞文
- ▶ -ngku: 能格 (他動詞文の動作主項; A) につく
- ▶ 自動詞文の唯一項(S)と他動詞文の被動者項(P)には何もつかない (=絶対格)
- ▶ 動詞の構造:
[自動詞] 語根-時制(-mi: 非過去, -ja: 過去)
[他動詞] データが少ない (過去形「見た」しかない) ため、問題からは推測不可

解答

- (a) kurdu
(b) 6. Maliki ka parnka-mi.
犬 肯定 走る-非過去
犬が走っている
7. Karnta-ngku kulaka kirda nyangu.
女-能格 否定 父 見た
女が父を見なかった

参考

語彙

kurdu 「子供」, maliki 「犬」, kirda 「父」, karnta 「女」
wangka 「話す」, nyangu 「見る」, parnka 「走る」

データ

- | | | |
|------------------|-------------------|------------|
| 1. Kurdu | ka | wangka-mi. |
| 子供 | 肯定 | 話す-非過去 |
| 子供が話している | | |
| 2. Kurdu-ngku ka | maliki nyangu. | |
| 子供-能格 肯定 | 犬 見た | |
| 子供が犬を見た | | |
| 3. Kirda | ka | wangka-ja. |
| 父 | 肯定 | 話す-過去 |
| 父が話した | | |
| 4. Karnta | kulaka parnka-ja. | |
| 女 | 否定 | 走る-過去 |
| 女が走らなかった | | |
| 5. Kirda-ngku ka | kurdu nyangu. | |
| 父-能格 肯定 | 子供 見た | |
| 父が子供を見た | | |

面接用問題3 形態

マン島語

内名: Gaelg, Gailck

英語名: Manx, Manx Gaelic

話者数: 1,660

文字: ラテン文字

地域: ヨーロッパ ▶ ブリテン諸島 ▶ マン島

系統: インド・ヨーロッパ語族 ▶ ケルト語派 ▶

島嶼ケルト諸語 ▶ ゴイデリック諸語



代用表記と本来の表記法の対応

代用	本来	発音
x	ch	軟口蓋摩擦音

規則

- ▶ 語順: (限定詞) 名詞語幹 (- 複数)
- ▶ 限定詞: 「私の」 my, 「君の」 dty, 「その」 yn
- ▶ 複数を表す接辞: -yn
- ▶ 限定詞が前に来ると、名詞の先頭の子音が | 摩擦音化する |
b→v, k→x となる

解答

- (a) my xiark
私の めんどり

私のめんどり

- (b) yn vluckan
その ボール

そのボール

参考

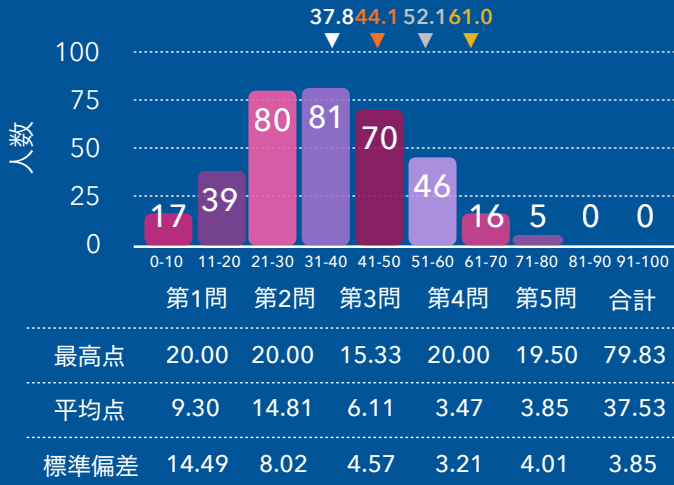
語彙

braag 「靴」, kere 「くし」, kiark 「めんどり」, bluckan 「ボール」, bayrn 「帽子」

統計

選抜枠

354人



オープン枠

80人



全体

434人

	第1問	第2問	第3問	第4問	第5問	合計
最高点	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	85.17
平均点	9.01	13.97	5.96	3.29	3.72	35.96
標準偏差	8.19	5.67	3.78	4.18	3.72	17.38

STAFF

- 主催** 国際言語学オリンピック日本委員会
- 運営** 特定非営利活動法人 国際教育合作協会
- 問題作成** ヴラド・A・ネアクシュ, 梶田純之介, 小林剛士, 佐藤和音, 高橋翼, パン・トンロー(潘同樂)
- 大会運営** 飯田純, 大勢拓実, 岡本沙紀, 梶田純之介, 小林剛士, 佐藤和音, 高橋翼, 中原晴彦, ネイサン・ソマーズ, 山崎貴之, 山田洋平
- Webシステム** 小林剛士, 高橋翼
- 編集** 梶田純之介

JOL
2022

問題の著作権は問題作成者のみに属します。
 本冊子の内容はライセンス CC-BY で配布します。
 © 2022 国際言語学オリンピック日本委員会

